

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

音楽集会の実行委員長である水野さんは、次の資料を読みました。

【資料】

1

林さんは、「えひめわらべ合唱隊」の先生です。この合唱サークルでは、子どもからお年寄りまで、さまざまな世代が集まり、童謡や唱歌を楽しんでいます。

「次は、『赤い靴』を歌いましょう。これ聞いたことある？」

林さんの問いかけに、最前列の女の子同士が首をかしげました。それを見た、女性会員たちは「えっ、こんな歌まで……」と顔を見合わせます。

「学校で歌われなくなってきた童謡の一つです。びつくりでしょ。」

林さんが言うように、二〇〇二年、「赤とんぼ」「荒城の月」など、古くから音楽の教科書にのっていた童謡・唱歌がまた姿を消しました。教科書の歴史を見ると、歌詞が難しい歌にかえて、現代風の歌を採用する教科書が登場し始めたのが、一九七〇年前後のことです。以来、この傾向が続いています。

『赤い靴』じゃなくて、『赤い鳥小鳥』なら知ってる？」

女の子たちは、また首をかしげます。

「学校で習わんし、家でも聞いたことないよ。」

でも、子どもたちは、初めての歌もすぐに気に入って、大きな声で歌います。年配の人たちにとっては、子どものころから歌い続けてきた歌ばかりです。ある人は得意そらに、またある人は、なつかしそらに歌声をひびかせます。大人といっしょに歌ったあと、

「すぐにおぼえられたし、サークルのみんなで歌うと、とても楽しかった。」と、子どもたちは笑顔で語りました。



2

「童謡、唱歌、わらべうた。あなたはいくつ歌えますか？」

「一つ一つの歌について、『歌える（知っている）』か、『歌えない（知らない）』かを答えてください。」

ある日、林さんたちのサークルのほか、いくつもの市のコーラスグループが集まって、長く歌いつがれている童謡・唱歌百曲を選び、市民を対象に調査しました。すると、童謡を歌えない若い人がたくさんいることが分かりました。

「童謡は親子や友達、身近な人とつながる普段着の歌。いっしょに歌おう、楽しいよ、と呼びかけたい。」

調査の結果をまとめた林さんは、こう話しています。

【二ページ】

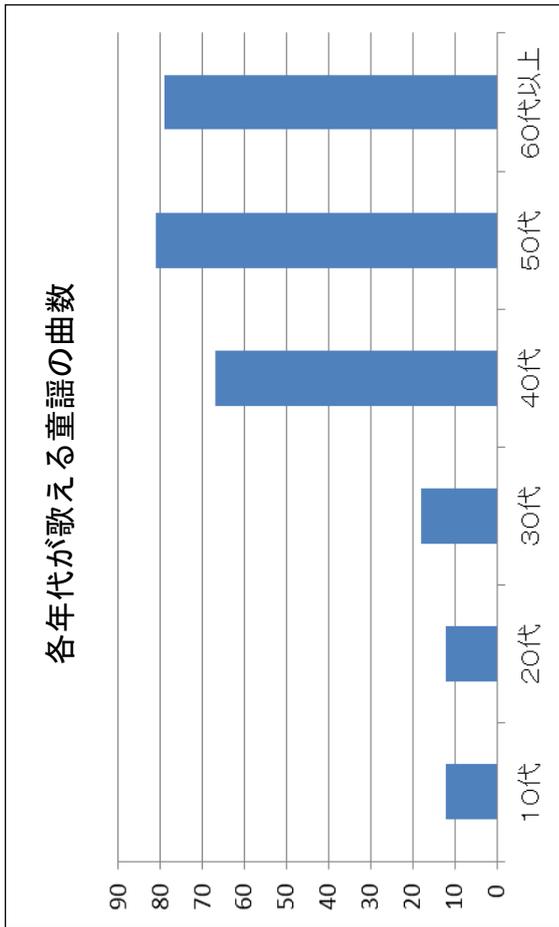
一 【資料】の——線部「歌い続ける」は、「歌う」と「続ける」が組み合わさってできた言葉です。次の□内の言葉を組み合わせてできる言葉を三つ書きましょう。

※ 同じ言葉をくり返し使っちゃダメです。

雲 終わる 読む いわし 音

二 【資料】を読んだ水野さんは、「童謡を歌えない若い人がたくさんいることが分かった」という調査結果が気に入り、結果をまとめたグラフを手に入れました。次は、そのグラフと、グラフを見て水野さんが考えたことです。

【水野さんの考え】の()に当てはまる言葉を、【資料】の1の部分から、二十字でぬき出して書きましょう。



【水野さんの考え】

十から二十代が歌える曲数は、平均十二曲と、とても少ないことがわかります。また、三十代も、上の世代と比べると少なくなっています。このことから、分かれ目は、四十歳前後にあると考えます。

その理由は、【資料】に書かれているように、一九七〇年前後から、() ことによつて、子どもたちが童謡や唱歌に触れる機会が少なくなったからではないでしょうか。

水野さんたちは、音楽集會に地域の人たちをまねぎ、いつしよに童謡や唱歌を歌うことにしました。そして、「選曲は、ぜひ地域の人たちにお願ひしよう。」という水野さんの提案により、地域の人たちに、次のページの依頼状を出しました。

【三つ一どし】

【依頼状】

< 2 >	< 1 >
< 3 >	

はじめまして。

. . .

2月18日(火)、青葉小音楽集会を行います。
 集会のメインは、地域のみなさんと歌う「青葉日本の歌10選」です。

そこで、みなさんに、「青葉の子どもたちと歌いたい日本の歌」を選んでいただきたいと思います。別紙「候補曲」から10曲を選んで、下のらんにごその番号をお書き()。

. . .

三 【依頼状】に名前や日付を書きます。内()の< 1 >から< 3 >の位置に書く内容として最もふさわしいものを、次のアからウまでの中から一つずつ選んで、それぞれ記号で書きましよう。

ア 自分の名前 イ 相手の名前 ウ 日付

四 【依頼状】の()に入る言葉としてふさわしい言葉を、ひらがな四字で書きましよう。

ある人からの回答に、次のコメントがそえられていました。

【コメント】

「ねんねんころりよ おころりよ♪ ぼうやはよいこだ ねんねしな♪」

この歌は、正式な名前を「江戸子守唄」といいます。子どもを授かったとき、私は、ある人から子守歌だけを集めたCDをもらいました。

日本には、いろいろな子守歌があることに感心させられましたが、結局、わが子に歌い聞かせていたのは、自分が幼いころ、母に歌ってもらっていたこの歌です。

来春、青葉小に入学する長男は、いつの間にかこの歌を覚えて、ときどき口ずさんでいます。

どの国にも、世代をこえて引きつがれる歌があるはずですが、音楽集会では、日本語の美しい響きを存分に味わってください。



五 次の文は、【コメント】の——線部「世代をこえて引きつがれる」について説明しています。() ①、②に当てはまる言葉を書きましよう。

「私」の場合、「私」をはさんで、(①)、(②)の三世代が「江戸子守唄」を歌いついでいる。

一

--	--	--

二

三

<1>

--

 <2>

--

 <3>

--

四

--	--	--	--

五

①

--

 ②

--

シート 25 正答例

- 一 いわし雲・読み終える・音読み（音読）
- 二 現代風の歌を採用する教科書が登場し始めた
- 三 〈1〉 ウ 〈2〉 イ 〈3〉 ア
- 四 ください
- 五 ① 母、私の母など ② 子、私の長男など